

# Kurilon Workshop News

クリロンワークショップ便り  
No.26 2017年11月

No.  
26



Infomation

## 蔡國華「洋画展」 阪急梅田本店 7F 美術画廊

2017/12/6日(水)~12日(火)

日~木曜日 10:00~20:00

金・土曜日 10:00~21:00

最終日 10:00~18:00



阪急梅田本店7F美術画廊にて12月6日(水)から12月12日(火)に蔡國華「洋画展」が開催されます。近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。

(デザイン:画空間 豊島 愛)

ユーザーの声をフィルムに表現する  
**クリロン化成株式会社**  
<http://www.kurilon.co.jp/>

心が豊かであるために・・・  
**KURILON** Workshop  
<http://www.kurilon.co.jp/company/workshop/>

**画空間** Art Space  
<http://www.a-kukan.com/>



強まってきました。各々の分野での取り組みで達成しようとする意気込みを率直に話し合える環境が形成されてきている実感があります。

# 第13回

# HFF 2017 開催

ヒューマン フロンティア フォーラム

軽井沢に秋の訪れが感じられる9月中旬、爽やかな天気の下でヒューマン・フロンティア・フォーラム(HFF2017)が開催されました。二泊三日にわたる「ディスカッションの集い」の参加者は約40名。

大学関係者から企業人、NPO主宰者、芸術家などの多彩な顔ぶれです。1日目は自己紹介を兼ねた活動報告、続く2日間は3件の話題提供と議論というプログラムです。今年は「組織と個人の葛藤」をテーマに、HFF常連メンバーからの話題提供となりました。

最初は、中央官庁の事務次官から一転、八ヶ岳での仙人暮らしを経て、現在はスポーツ関連の公益財団法人の専務理事を務めるO氏から、「共同体、世間、イイ、国家」など「個人と組織」を巡る基本的な概念と、組織内

で組織を変える行動の実践例が話されました。

続いて、大学の学部長や学長に就任して間もないM氏とK氏から、新たな大学像に向けて、旧態依然とした大学の実態と克服に向けた苦闘が。

最後に、「会社の意向に沿うのではなく、社会の意向に沿って仕事をすると題して、大企業内で価値創造の企画や指導をしているS氏から、日本の大企業で働く人々の能力発揮が抑制されている状況や、そこからの脱却に向けて、膨大なデータに基づく問題提起がなされました。

その場での議論をもとより、朝夕の食事やHFF恒例の『夜のミーティング』などで、活発な話し合いが繰り返されました。

「継続は力なり」と言いますが、HFFも13年目を迎えると、年に一度だけ再会する人達の間にも、深いレベルでの結びつきが強まってきました。各々の分野での取り組みで達成しようとする意気込みを率直に話し合える環境が形成されてきている実感があります。

代表取締役 栗原 清一



フロンティアに立つ人達が互いに交流する中から、各々の持ち場で未来を切り拓く力が強まっています。そこにHFFという「場」の価値があることを感じさせられた三日間でした。

## 経営実践セミナー

奈良経済産業協会主催

奈良経済産業協会主催の「経営実践セミナー」が9月6日(水)ホテルリガール春日野にて行われました。同セミナーは、活力ある企業経営と経営課題の解決に資するべく、企業の経営者、幹部層向けに年2回、実施されています。今回のテーマは「女性の活躍推進」であり、栗原社長が基調講演の依頼を受け、60名の方が参加されました。

女性の社会進出は、世の中の動きの反映であり、労働力率のグラフを用いて日本のM字カーブは、結婚、出産、育児によってキャリアが途絶えてしまうことを顕著に表していることが説明されました。それを改善するための当社の取り組みとして、パート社員の方にもっとと能力を高めて貢献度を増やしてもらおうとする「130万の壁補助制度」や、90年代から取り組んできた「育児支援制度」を紹介しました。

人材部 福田 真美子



当社の人材マネジメントに対する考え方としては、事業の柱は技術経営と人材経営であり、人の力をいかに引き出すか、社員の知恵と工夫が最も大事であると述べ締め括りました。

参加者からは「厳しいビジネス環境の中、発想の工夫で色々なことに取り組まれていて面白いですね。今後求められる働き方改革、同一価値労働を先取りされた取り組みですね」などお声を頂きました。

当社の講演後は、株式会社品川工業所と関西緑地サービス株式会社の二社による事例発表も行われ、その後の懇親会も盛況に終わりました。

# North Italy and Switzerland 北イタリア・スイス紀行 蔡國華 作品展

今年5月にスケッチツアーで訪れたスイス・イタリア国境の風景を描いた作品を展示。同時に「北イタリア・スイス紀行」作品集の発売を記念した展覧会です。毎年好評の水彩風景作品集シリーズも今回で4作目となり、楽しみに手に取って下さる方も多く見られました。会場には涼しげな緑や青、そして石造りの町並みのオレンジ色が目に爽やかな水彩作品の数々が並びました。スイス山奥の村・ソリーオ。頂に白い雪の残る山脈に臨み、立ちならぶ小さな家々、そして青く広がる空とみずみずしい緑の木々から澄み渡った空気が感じられます。北イタリアの小さな湖畔の街・オルタ・サン・ジュリオ。中世の姿を残した街



画空間 小川 あき子

に並ぶカプエや教会、湖が静謐な明るさで描かれています。どちらも大都会を離れ、豊かな自然に囲まれたのどかな風景が心を和ませてくれます。

水彩作品が並ぶ中、ひととき存在感を放つ油彩の大作は会場で見られないもので、石壁の街角に初夏の陽光が明るく差しこんでいる様子が鮮やかにそこにあるように感じられました。

夏の終わり、まだ暑さの残る中たくさんの方が作品を見て会場へと訪れました。うだるような残暑が続きましたが、爽やかな作品がふと暑さを忘れさせてくれるような展覧会となりました。

## 切り絵と書

和空間(夏時雨) 2人展 切り絵作家 タンタン 書家 坂田 紅陽



切り絵作家 タンタン

2017年7月31日から8月5日まで、画空間にて、切り絵作家のタンタン氏と共に「切り絵と書」2人展を開催させていただきます。サブタイトルは、和空間(夏時雨)でしたが、本社本館に「和空間」という憩いのスペースがあるということを後に知り、偶然の一致にとっても驚きました。

会場はシロフォンの音色と水琴窟の音で雨音を再現し、天井から水玉のライトで雨を降らせ、夏時雨の世界を展開、素敵な切り絵作品と書作品が融合し、癒しの空間を演出。また大筆で書いた「雫」という文字の巨大切り絵の前で多くの方が写真撮影し、見入って下さっていました。

初日オープニングパーティーでは、瓜生恭子さんのピアノ演奏と歌手吉住和さんとの歌声が会場を華やかに彩りました。テーマにふさわしく期間中は雨が多いう中、沢山の方々にご来場頂きました。

M.Y.空間 坂田 紅陽 (書家・坂田 紅陽)



「切り絵と書」2人展によせて

書家・坂田紅陽先生との出会いがはじまりとなり、切り絵と書のコラボレーションに取り組んでおります。この夏、画空間にて雨に対する日本人独特の美意識に焦点を当てた、切り絵と書の「和空間」展覧会がきっかけとなり、企画・組み合わせが面白い、とのご評価を受け、堺高島屋(11月15日~21日)、大阪高島屋(11月22日~28日)にて切り絵と書の和空間期間限定店舗出店をさせて頂く運びとなりました。

モダンで新しい感覚の作品・商品展開をする一方で、日本人の素晴らしい美意識と伝統文化を多くの人に届けていきたいという思いを胸に、日々制作に勤しんでおります。



Profile: タンタン 切り絵制作 日本の伝統模様を中心に デザイン、装飾、プロダクト制作 http://tantan.tokyo

## 第51回 潮まつり

7月30日(土)第51回おたる潮まつり、潮ねりこみに「満ち潮隊」として参加して参りました。今回の参加者は過去最多となる総勢74名で、初参加のメンバーも多い中、練習も例年以上に気合を入れている様子がありました。

本番当日、いざ踊り始めると沿道のお客様の声援が非常に大きく、「満ち潮隊」の認知度の高さを感じました。

さて、気になる表彰結果ですが、今年なんと、94梯団のトップ、優勝に返り咲く事が出来ました！昨年の優勝に次ぎ二度目の優勝、再び大きな優勝旗を手取る事ができ、たいへん嬉しく思います。一連覇を目指し、来年に向け更に進化し続けて参ります。



北海道営業所 南川 佳月